



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

イスラエル：ネタニヤフ首相の訪日

2014年5月11日、イスラエルのネタニヤフ首相が、公式実務訪問賓客として日本を訪問した。同首相は、12日に茂木経済産業大臣と会談し、夕方安倍首相との首脳会談を行った。13日午前中には皇居を訪問して天皇、皇后両陛下に御謁見、午後、小野寺防衛大臣、岸田外務大臣の表敬を受けた。経済関係では、12日にパナソニックセンターを視察したほか、13日に経団連会長と面談した。14日には京都を訪問し、同日夜、予定を1日早めて帰国した。ネタニヤフ首相は、今回の外遊では日本だけを訪問した。

ネタニヤフ首相は、1997年に首相として来日したことがあり、首相として2回目、17年ぶりの訪日となった。イスラエル首相の訪日は、2008年2月のオルメルト首相の訪問以来6年ぶりとなる。

二国間関係では、両国の国家安全保障局間の意見交換が行われた。防衛協力の重要性和閣僚級を含む防衛当局間の交流拡大と自衛隊幹部のイスラエル訪問で一致している。またサイバー・セキュリティに関する対話実施への期待が表明された。経済関係では、投資協定の交渉立上げに向けた作業開始や産業分野の共同研究開発の促進努力を確認している。

イスラエルは、1980年代末から、準社会主義的経済の民営化に政策を変更した。その結果、軍需産業が持っていた技術やノウハウが市場に出され、イスラエルはハイテク国家に変貌した。80年代までは、イスラエルから日本への主要輸出品はダイヤモンドであったが、90年代以降、IT機器や化学製品など多様化した。イスラエル側は、日本との多方面での経済関係の拡大を求めることに加えて、日本の資金力を活用して研究・開発を進める体制を構築することが中長期的な目標になるだろう。ネタニヤフ首相は、帰国後の閣議で、経済面での成果があったとし、イスラエルと日本の経済・技術・科学及びその他の関係を発展させるという明確な決定がなされたと述べている。

(中島主席研究員)

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799